

■赤松則良 幕府派遣オランダ留学生として造船学を学び、維新後、海軍の創設を主導した。

あかまつのりよし

天保改革始・1841＝ 幕臣御徒士吉沢雄之進の次男として、江戸深川で生まれた。

旗本だった祖父赤松赤松良則の養子となり、

阿部正弘首座1845＝ 4歳：

・・・1847＝ 6歳：後を継いで、赤松姓となる。

国定忠治疎・1850＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝12歳：

安政大地震・1855＝14歳：坪井信良の門を叩き蘭学を修む。

蕃書調所・・・1857＝16歳：長崎の海軍伝習所で学び、

安政の大獄・1859＝18歳：

桜田門外変・1860＝19歳：*威臨丸に乗り組み太平洋を横断、浦賀に帰還。「威臨丸亞米利加紀行」を著す。

渡欧使節・1861＝20歳：幕府からアメリカ留学生に選任されるも、南北戦争のため、_幕府派遣オランダ留学生の1人となり、

生麦事件・1862＝21歳：_榎本武揚らとともに、渡欧、

8月18日政変 1863＝22歳：ロッテルダムに到着し、以後、_主に造船学を学ぶ。

薩長同盟・・・1866＝25歳：完成した開陽丸で帰国する榎本ら同行留学生と別れ、オランダに残留して研修を続けるが、

大政奉還・・・1867＝26歳：_幕府瓦解の報を知って、留学を中止し、

明治維新・・・1868＝27歳：_上野の彰義隊戦争直後に帰国した。一緒に留学した官医林研海の妹と結婚、静岡に退いた徳川家を慕い、遠江国見付宿に移る。徳川家の沼津兵学校創設に参画、数学教授となり、西周の後を受け頭取となる。

初の日刊新聞1870＝29歳：兵部省出仕、兵部大丞をへて、

学問のすすめ1872＝31歳：海軍大丞となり、

明治6年政変 1873＝32歳：

佐賀の乱・・・1874＝33歳：海軍少将として、台湾出兵で総督西郷従道を補佐した。

三つの内乱・1876＝35歳：*横須賀造船所長となり、自ら設計監督し軍艦4隻を邦人のみで建造した。

西南戦争・・・1877＝36歳：_創立時から東京数学会社に参加、機関誌に保険数学を寄稿した。

明治14年政変1881＝40歳：日本会員掖済会を設立して委員長を務め、

帝国大学始・1886＝45歳：

国民之友始・1887＝46歳：男爵を授けられ、中將に進む。

帝国憲法発布1889＝48歳：*開庁した佐世保鎮守府の初代司令長官、ついで横須賀鎮守府司令長官に補されたが、

足尾鉞毒始・1891＝50歳：日本会員掖済会の初代会長となり、

大本教・・・1892＝51歳：有栖川宮威仁親王を総裁に推戴。*予備役編入になり、

郡司千島探検1893＝52歳：_本籍を静岡県見付町(磐田市)に移し、終の棲家(県指定文化財赤松家)を建造して腰を据え、

日清戦争始・1894＝53歳：

日清戦争終・1895＝54歳：

_磐田原開拓を推進、現在の茶所の基礎も築いた。

八幡製鉄始・1897＝56歳：貴族院議員となる。

日露戦争始・1904＝63歳：

日露戦争終・1905＝64歳：後備役に編入、

伊藤博文暗殺1909＝68歳：退役し、

大逆事件判決1911＝70歳：7男十女をもうけた妻に先立たれて上京、千駄ヶ谷の長男宅に同居、

明治天皇没・1912＝71歳：

大正政変・・・1913＝72歳：

ロシア革命・1917＝76歳：喜寿を迎えて_公職一切を辞し、

大暴落・・・1920＝79歳：_没した。